

TATEBI REPORT

開館20周年を楽しむ展覧会

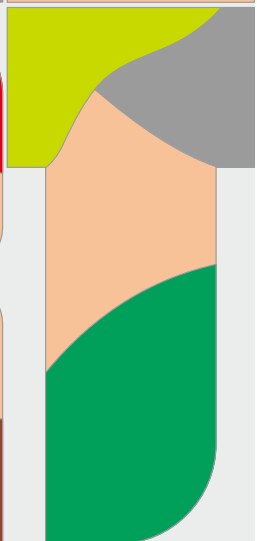
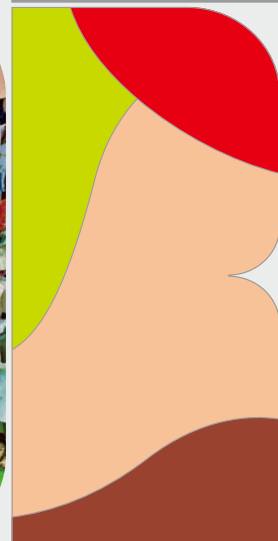
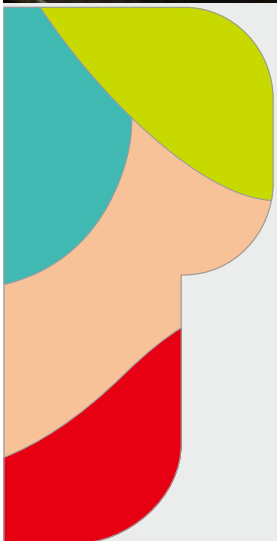
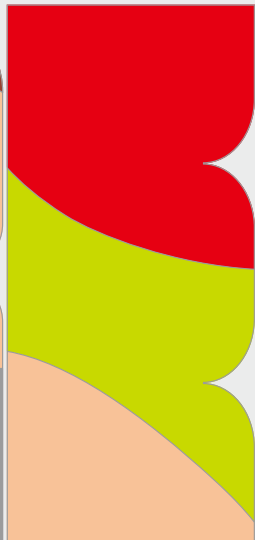
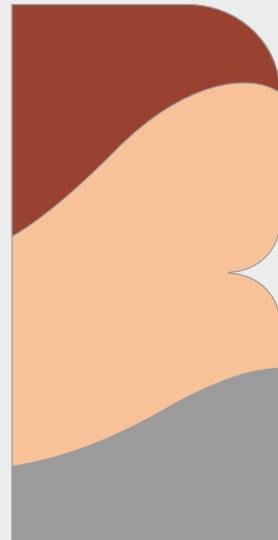
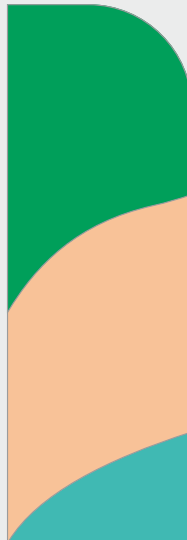
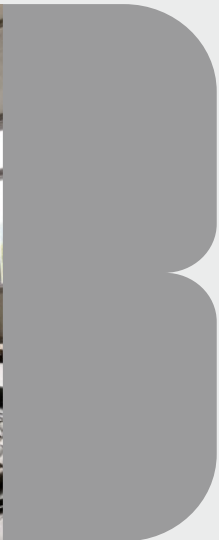
【休館日】月曜日(ただし9月20日(月・祝)は開館)、9月21日(火)
 【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

【観覧料】一般 620円(490円)、大高生 310円(240円) ()内は20名以上の団体割引料金
 *中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 *10月28日(木)県民の日は無料

2021.9.18[sat]-11.7[sun]

【会場】群馬県立館林美術館 展示室1~4 【主催】群馬県立館林美術館 【協力】館林市日本遺産プロジェクト、ミヅマアートギャラリー
 〒374-0076 群馬県館林市日向町2003 TEL.0276-72-8188(代表) FAX.0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp> *第45回県民芸術祭参加
 (上)山口晃《深山寺参詣圖》1994年 当館蔵 撮影：宮島径 ©YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery
 (中)星素子《地域参加型プロジェクト「中之条パトンをつくろう!」会場風景(中之条ビエンナーレ国際現代芸術祭 2019)》(下)安部泰輔「ふたご森」会場風景(夏のワークショップ プロジェクト 2010「ふしぎの森の美術館」、広島市現代美術館)

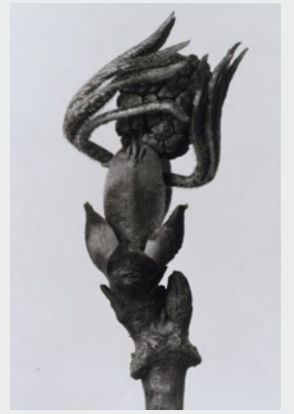
群馬県立館林美術館



TATEBI REPORT

開館20周年を
楽しむ展覧会

群馬県立館林美術館は、今年で開館20周年を迎えます。本展では、コレクションによって美術館のこれまでとこれからを考えるとともに、アートを楽しむ展示を行います。当館は開館以来の大きなテーマとして、「自然と人間とのかかわり」を掲げてきました。そこで、まず収蔵・寄託作品から動物や人、自然を表現した作品を中心に展示し、これまでの活動について振り返ります。そして、コレクションの広がりやこれからを考える機会として、今年度新しく収蔵した群馬県ゆかりの作家である山口晃の《深山寺参詣圖》を初披露し、作家へのインタビューにより深掘りした紹介を行います。また、アートによって地域とのつながりや未来に思いを馳せるため、参加型の作品を制作する2名のアーティストによる展示を行います。古着を素材として作品を制作する安部泰輔は、会期中展示室内で公開制作を行います。言葉アートを開発し芸術表現を開拓する星素子は、会期前から館林市内で活動を行い、地域の方々から集めた素材によるインスタレーション作品の制作や、公開制作を行います。アート体験によって美術館や地域について知ったり、良さに気づく機会となれば幸いです。



1. ラウル・デュフィ『動物詩集あるいはオルフエウスのお供たち』(ギョーム・アポリネール著)より『猫』1911年刊行
2. カール・ブロスフェルト『ニワトコ』1920年代 3. 渡辺香奈『The River』(部分) 2012年 当館寄託

出品作家による展示とイベント

◎星素子 展示『館林バトン&エアハグ』(展示室1)

星素子は「未来へ手わたしたいもの」を問ひかけ、地域の小中学校や施設でのワークショップやBOX設置で作品素材を収集するプロセスを重ねて、館林の自然や人の想いが多様に現れる参加型アート《館林バトン》を制作します。また、コロナ禍での新作シリーズ《エアハグ》の公開制作や「言葉アート」作品を交え、詩的なインスタレーション空間を創出します。

協力：館林市日本遺産プロジェクト、丸富製紙株式会社、株式会社共和、日鉄ステンレスアート株式会社、株式会社誠和製作所、株式会社クサカバ

◎星素子 言葉アートワークショップ「館林バトン」

10/3(日) 14:00～15:30 (要申込・先着6組(1組4名まで)・別館ワークショップ室、展示室1)
紙のロール芯に漢字と理由をかき、彩色します。

◎安部泰輔 展示とワークショップ「ハヤシガモリ」

(申込不要・会期中毎日・先着1日10名・参加費1000円・展示室4)

古着を素材としてぬいぐるみを制作する現代美術家の安部泰輔は、会期中毎日展示室に滞在し、ワークショップを行います。ワークショップ参加者の描いた絵からぬいぐるみの作品を制作し、出来たぬいぐるみ(作品)と絵は、会期最終日まで古着の「木」に「実」として飾り、終了後に郵送でお渡しします。

*事前に募集した古着を使って制作します。古着の持ち込み、指定はできません。
*絵は会場で描いていただきます。絵の持ち込みはできませんので、あらかじめご了承ください。



館林バトン 漢字収集BOX 星素子展示『館林バトン&エアハグ』イメージ作品

その他のイベント

◎学芸員による作品解説会(申込不要・無料・先着50名・講堂)

9/29(水)、10/16(土) 各日 14:00～(30分程度)

◎たてび☆キッズウォーク(申込不要・小中学生対象・展示室)

10/9(土)、11/6(土) 各日 13:00～15:30

※自由な時間に参加できます。※参加記念品付き

*各展示やイベントについての詳細・申込方法は、個別チラシやホームページでご確認ください。→ <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

*新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、状況に応じて変更になることがあります。



インフォメーション

◎群馬県立近代美術館 (tel. 027-346-5560) 関東南画のゆくえ 江戸と上毛を彩る画人たち 9月18日(土)～11月7日(日)

◎足利市立美術館 (tel. 0284-43-3131) 高山良策展 空想する闇と光—足利市立美術館所蔵作品による 8月21日(土)～10月10日(日)

デビュー50周年記念 諸星大二郎展 異界への扉 10月23日(土)～12月26日(日)

◎館林市第一資料館 (tel. 0276-74-4111)

交通案内

- 車 東北自動車道 館林I.C.から約9km、北関東自動車道 太田桐生I.C.から約15km
- 電車 東武伊勢崎線 多々良駅から約1.2km(徒歩20分)、東武伊勢崎線 館林駅から約4km(東口よりタクシー10分)
- バス 館林駅西口から多々良巡回線バス、往路30分、復路15分。
バス停「県立館林美術館前」からすぐ、またはバス停「多々良公民館南」から徒歩15分。

多々良巡回線バス時刻表

館林駅西口	多々良公民館南	県立館林美術館前	館林駅西口	館林駅西口	多々良公民館南	県立館林美術館前	館林駅西口
8:50	9:10	9:14	9:30	13:21	13:41	13:45	14:01
9:40	10:09	→	10:23	14:16	14:34	→	14:47
10:43	11:03	11:07	11:23	15:02	15:31	→	15:45
11:38	12:07	→	12:21	16:00	16:20	16:24	16:40

群馬県立館林美術館

〒374-0076 群馬県館林市日向町2003 TEL. 0276-72-8188(代表)
FAX. 0276-72-8338 <http://www.gmat.pref.gunma.jp/>

東京都内からのご案内

- 浅草駅(東京メトロ銀座線、都営地下鉄浅草線)または北千住駅(JR常磐線、東京メトロ日比谷線・千代田線・半蔵門線、つくばエクスプレス)から東武スカイツリーライン・伊勢崎線をご利用ください。特急「りょうもう」の場合、浅草駅(北千住経由)～館林駅の所要時間は約60分。
- JR宇都宮線ご利用の場合は、久喜駅で東武伊勢崎線に乗り換え。久喜駅～館林駅の所要時間は約30分。

